

100 年前と現在

100 年前に猛威をふるったインフルエンザウイルス又の名をスペイン風邪。多くの犠牲を払った当時、世間へのマスク普及が強く訴えられました。公衆衛生の向上とウイルスの感染拡大を防ぐために布マスクが導入されました。現在私たちは新型コロナウイルスによるパンデミック真只中。アメリカでのコロナウイルス感染による犠牲者は 100 年前のスペイン

風邪による犠牲者を等を超えてしまい今も累計死者数は増え続けている。非常に恐ろしい…… マスク着用への抵抗即ちマスク戦争は 100 年前から実は存在していた。スペイン風邪以降、SARS などの幾度なるパンデミックを人類は経験したが、私たちは過去の経験や教訓から何を学び生かしているのでしょうか? 本質的に昔も現在も感染症対策に関して何も変わってないと筆者は考える。

昨年と今年

驚く事に新型コロナウイルスによる今年の米国累計死者数が昨年の累計死者数を超えた。デルタ変異株の到来とワクチン普及率の低さが起因しているようだ。昨年はワクチンが導入されたばかりでまだ治療薬にも選択肢が本当に少なかった。対して今年には多くの治療選択肢が増えた。抗体カクテル薬に経口抗ウイルス薬も開発された。しかしながら欧米は感染第五波に突入し、ホリデーシーズンピークの年

末年始を迎えると感染者数は再び爆発的に増加し、今年も昨年同様厳冬になるだろう。確かに医療技術の進歩、ハイテクノロジーにより治療選択肢が増えたが依然先は厳しい…… そして何よりも公衆衛生の基本である、社会的距離の確保、手洗い&うがい、マスク着用などのローテクノロジーを過小評価しないで欲しい。大変だった昨年はローテクノロジーでパンデミックを凌いだ。どうか今年の年末年始も安全にお過ごし下さい。

学生医師 中川裕介



マスクをつけて仕事をする女性事務員。ニューヨーク。1918 年 10 月。
National Archives



反マスクのミーティング新聞広告。1919 年。サンフランシスコ・クロニクル。

マスク非着用の市民に警告しているマスクをつけた警官。サンフランシスコ 1918 年。California State Library, photograph by Hamilton Henry Dobbin



1918 年 10 月 18 日コネチカット州ニューヘイブンの新聞。U.S. National Library of Medicine



マスクを着けてジョージアテックチームのフットボールを観戦する様子。1918 年 Thomas Carter/Public Domain



マスクをした女性の車掌たち。ニューヨーク 1918 年。National Archives



1918 年 10 月、インフルエンザ予防のためのマスクの新聞広告。18 セント。
Texas State University



インフルエンザの予防マスクをつけて髭剃りをする床屋。オハイオ州シンシナティ。1918 年。National Archives